

南山大学人類学博物館

年 報

2017 年度

南山大学人類学博物館

巻頭言

人類学博物館がリニューアルしてから5年目になる。この間、各方面から予想以上の高い評価をいただいたことは望外の喜びであった。だが、これまでも言及してきたように、その評価に甘んじていては、今後博物館としての展開は望むことができない。これからの5年、10年、20年先を見通した新たな活動を考えていかなければならない。

だが、その前に、この5年間の人類学博物館の活動を一度総括しておく必要はあるだろう。いわゆる博物館評価 (Museum Evaluation) である。おそらくは世界でも稀に見る「触る展示」を実現した博物館ではあるが、現状に何が不足しているのか、そして改善すべき点は何か、を客観的な視点から評価してもらい、それをこの先の活動の起点としなければならない。

われわれはこれまでも、人類学博物館はユニバーサル・ミュージアムである、というのではなく、ユニバーサル・ミュージアムを目指す博物館である、と語り続けてきた。その「ユニバーサル」という意味を吟味し、そして目指すだけでなく実現可能な目標を掲げることが必要なのである。

2018年はその変換点として位置付けたい。2019年以降の人類学博物館が、どのようにこれまでの殻を破れるか、今年度の活動にかかっている。

2018年6月
南山大学人類学博物館

目次

1. 2017年度の人類学博物館の活動	
(1) 教育普及活動	1
①展示	1
②講座	2
③連携授業	4
④総合学習	4
⑤博物館実習(学外)	5
(2) 調査・研究活動	5
調査出張	5
(3) 資料の収集・整備と利用	5
①受贈資料	5
②燻蒸の実施	6
③購入図書	6
④受贈図書数	6
⑤資料貸出	6
⑥取材・調査	6
⑦撮影・他機関刊行物等への掲載	8
⑧当館紹介刊行物一覧	9
(4) 出版活動	9
2. 組織と運営	
(1) 組織	9
(2) 開館・入館者実績	10
①開館日数・入館者数	10
②入館団体内訳	10
③視察見学	12
3. 規程	
(1) 南山大学人類学博物館規程	12
(2) 南山大学人類学博物館運営委員会規程	13
(3) 南山大学人類学博物館資料評価委員会規程	14
(4) 南山大学人類学博物館ボランティア規程	15

1. 2017年度の人類学博物館の活動

(1) 教育普及活動

教育普及活動として、博物館主催及び博物館実習受講生による企画展示をはじめ、専門家を招聘してのセミナー、フィールドワーク等を行った。また、高校との連携授業を行ったほか、中学生の総合学習・職場体験学習も受け入れ、博物館学芸員の職業体験を通して中高生に博物館の実際を知ってもらった。

① 展示

○博物館主催展

※印の展示……博物館学芸員が企画し、「博物館実習」受講生が授業の一環としてパネル・キャプションの作成および展示作業を行った。

- ・企画展「人類学博物館紀要に載った資料」展
会期：2017年5月19日（金）～6月15日（木）
会場：南山大学人類学博物館
期間中来館者数：731名
- ・企画展「民具コレクション」展
会期：2017年6月23日（金）～7月13日（木）
会場：南山大学人類学博物館
期間中来館者数：441名
- ・企画展「学芸員のおすすめのイッピン」展※
会期：2017年9月4日（月）～9月8日（金）
会場：南山大学人類学博物館
期間中来館者数：134名
- 「博物館実習」受講生主催展
 - ・博物館実習1 実習生による企画展
（「生体鉱物と人」「Pray is Play」「にらめっこ」「ハンターたちの知恵」）
会期：2017年11月24日（金）～12月6日（水）
会場：南山大学人類学博物館
期間中来館者数：282名
 - ・博物館実習2 実習生による企画展
「日本の描き方 人々と地図のあゆみ」
会期：2017年12月15日（金）～2018年1月17日（水）
会場：南山大学人類学博物館
期間中来館者数：384名
 - ・企画展 新収蔵品展「菊島靖弘コレクション」展
会期：2018年2月23日（金）～4月7日（土）
会場：南山大学人類学博物館
期間中来館者数：609名
- 2017年度南山大学人類学博物館・明治大学博物館交換企画展
南山大学博物館会場：「三河武士内藤家、大名への道」
明治大学博物館会場：「二十世紀の石器時代人」を求めて

—南山大学東ニューギニア学術調査団の軌跡—

会期：2017年9月30日（土）～11月5日（日）

会場：南山大学人類学博物館・明治大学博物館

来場者数：南山大学人類学博物館 2371名 明治大学博物館 6736名

ギャラリートーク ①南山大学人類学博物館会場…10月28日（土）14：00～15：00

人類学博物館展示室

担当：日比佳代子（明治大学博物館）

「家長、政長、忠興からみる内藤家の歴史」

聴講者：22名

②明治大学博物館会場…10月14日（土）14：00～15：00

明治大学博物館

担当：黒澤浩（南山大学人文学部）

「フィールド調査の記憶

—東ニューギニア学術調査団のみた高山地帯の人々—

聴講者：34名

在校生向け特別講義 ①南山大学会場…5月2日（火）9：20～10：50

テーマ：大学博物館の使命と機能

講師：外山徹（明治大学博物館）

参加者：67名

②明治大学会場…10月27日（金）15：20～17：00

テーマ：次世代博物館としてのユニバーサル・ミュージアム

講師：黒澤浩（南山大学人文学部）

参加者：29名

明治大学博物館・南山大学人類学博物館協定事業シンポジウム

主催：明治大学博物館、南山大学人類学博物館

共催：全日本博物館学会、日本展示学会

会場：明治大学駿河台キャンパス

日時：2017年11月27日（月）13:30～17:00

テーマ：「ハンズオン」の可能性を考える

内容：第1部 ハンズオン事例報告

第2部 ハンズオンの可能性

第3部 討論

参加者：51名

② 講座

○特別講演会「民具から考える人々の暮らしの今昔」

開催日時：2017年6月21日（水）17：30～19：00

会場：南山大学 R 棟 1 階会議室

講師：久保禎子（一宮市尾西歴史民俗資料館学芸員）

参加者数：25名

○フィールドワーク

2017年度フィールドワーク「東海の遺跡を歩く 2017」 申込者数：22名

- 第1回 10月21日(土) 事前説明 講師：如法寺慶大、森本智子
(南山大学人類学博物館)
- 第2回 10月29日(日)「揖斐郡～野古墳群を中心に巡る～」開催
※天候不順の為12月10日(日) 昼飯大塚古墳、願成寺西墳之越古墳群、野古墳群、大野町
へ変更 総合町民センター、上磯古墳群、宗慶大塚古墳見学
現地講師：中井正幸(大垣市教育委員会)
- 第3回 11月12日(日)「熱田区～熱田台地の遺跡を歩く～」開催
熱田神宮、白鳥古墳、断夫山古墳、高蔵遺跡、大須二子山古墳
跡、富士浅間神社古墳、那古野山古墳、日出神社古墳見学
現地講師：深谷淳(名古屋市教育局)
- 第4回 11月26日(日)「豊橋市～瓜郷遺跡から稲荷山貝塚まで～」開催
瓜郷遺跡、大蚊里貝塚、五貫森貝塚、篠束遺跡、五社稲荷古墳
檜王貝塚、菟足神社貝塚、平井稲荷山貝塚見学
現地講師：黒澤浩(南山大学人文学部)
- 第5回 12月2日(土) 事後説明 講師：黒澤浩(南山大学人文学部)

○博物館講座

2017年度博物館講座『考古学を超える4つのアプローチ』

第1回 6月3日(土)「先史時代のコスモロジーに迫る:天文の考古学」

講師：後藤明(南山大学人文学部)

参加者数：25名

第2回 6月17日(土)「地震考古学で21世紀の大地震を考える

—名古屋も激しく揺れるのか—」

講師：寒川旭(産業技術総合研究所)

参加者数：22名

第3回 7月1日(土)「古人骨と考古学」

講師：谷畑美帆(黒曜石研究センター)

参加者数：24名

第4回 7月15日(土)「水中考古学による蒙古襲来への挑戦—元軍船を求めて—」

講師：池田榮史(琉球大学法学部)

参加者数：27名

○名古屋大学博物館連携講座「大学博物館が語る、地球と人類のヒストリー」

2016年度より、名古屋大学博物館と連携し、連続講座を開始した。理系・文系の枠を超えて、地球の誕生から現代に至る大きな歴史を、博物館資料を使いながら、両大学の研究者が解説した。

2017年度テーマ：「人類史と動植物」

第1回 9月23日(土)「西アフリカ内陸サバンナの雑穀栽培—小人口分散型の農耕戦略」

講師：坂井信三(南山大学人文学部)

会場：名古屋大学博物館講義室

参加者数：84名

第2回 10月7日(土)「人が変えた植物・人を変えた植物」

講師：西田佐知子(名古屋大学博物館)

会場：南山大学 B21 教室

参加者数：94 名

第 3 回 10 月 21 日（土）「古代アンデスにおける農耕と社会変化」

講師：渡部森哉（南山大学人文学部）

会場：名古屋大学博物館講義室

参加者数：64 名

第 4 回 11 月 4 日（土）「遺跡出土資料から見た動物とのつきあい」

講師：新美倫子（名古屋大学博物館）

会場：名古屋大学博物館講義室

参加者数：91 名

③ 連携授業

人類学博物館では、2007 年度より名城大学附属高校と連携授業を実施している。

10 月 23 日（月）：趣旨説明、博物館資料を探せ！（シルエットクイズ&文様探し）〔南山〕

10 月 30 日（月）：実物資料を見る①～縄文土器の観察と技術の発見～〔南山〕

- ・縄文土器の観察（スケッチ、意見交換、意見に対するコメント等）
- ・土器製作技術の説明（作り方はどこをみるとわかるか、文様施文法入門、技術からわかること）

11 月 6 日（月）：実物資料を見る②～用途を考える～〔南山〕

- ・弥生土器の観察（スケッチ、意見交換、レポート）
- ・用途を考える

11 月 20 日（月）：考古学はどんなことをやるのか？〔名城〕

- ・フィールドワークの方法①

12 月 4 日（月）：人類学はどんなことをやるのか？〔名城〕

- ・フィールドワークの方法②

12 月 11 日（月）：昭和の一品/逸品……それにまつわる家族の物語（発表）〔名城〕

12 月 18 日（月）：授業のまとめ、人類学博物館理解度テスト〔名城〕

④ 総合学習

本年度は 4 校より総合学習の申し出があった。

（見学×3 校 職場体験学習×1 校）

○見学

月日	学校名	人数
12 月 15 日	長野県木曾青峰高校	41
2 月 2 日	あま市立甚目寺中学校	13
3 月 9 日	瀬戸市立水無瀬中学校	9

○職場体験学習

- ・名古屋市立神沢中学校

期間：2018 年 2 月 1 日（木）～2 日（金）

受入人数：5 名

実施内容：展示室・収蔵庫掃除、梱包資材作成、梱包体験

資料、図書コーナーの作成 等

⑤ 博物館実習（学外）

本年度は1校より実習の申込があり、計4名を受け入れた。

申込大学：愛知学院大学（4名）

期間：2017年7月31日（月）～8月4日（金）

実施内容：博物館概要説明、燻蒸復旧作業、資料取扱・梱包、収蔵庫メンテナンス、
団体見学対応、解説作成（課題）等

（2） 調査・研究活動

積極的にシンポジウム、研究会へ参加し、調査・研究活動を行った。

調査出張

1) 平成29年度愛知県博物館協会総会

日時：2017年度6月8日（木）

内容：平成29年度愛知県博物館協会総会へ出席

出張者：如法寺慶大

2) 平成29年度東海地区博物館連絡協議会総会、日本博物館協会東海支部総会

日時：2017年度7月26日（水）

内容：平成29年度東海地区博物館連絡協議会総会および

日本博物館協会東海支部総会へ出席

出張者：森本智子

3) 大学が保管するアイヌ遺骨集約に向けた連絡協議会（第5回）

日時：2017年7月28日（金）

内容：大学が保管するアイヌ遺骨集約に向けた連絡協議会（第5回）へ出席

出張者：黒澤浩

4) 横浜ユーラシア文化館企画展ギャラリートーク

日時：2017年9月23日（土）

内容：横浜ユーラシア館におけるハンズオン展示、ギャラリートーク出講

出張者：森本智子

（3） 資料の収集・整備と利用

① 受贈資料

1. 菊島靖弘氏より

タイ、インドネシア、ミャンマーの民俗資料 70点

② 燻蒸の実施

○施設燻蒸 R 棟

7月4日 施工前昆虫トラップ配置

7月18日 施工前昆虫トラップ回収

7月29日 燻蒸実施

8月1日 施工後トラップ配置

8月24日 施工後トラップ回収

○施設燻蒸 G 棟

- 4月28日 施工前昆虫トラップ配置
- 5月18日 施工前昆虫トラップ回収
- 5月20日 燻蒸実施
- 5月24日 施工後トラップ配置
- 6月27日 施工後トラップ回収

③ 購入図書

11冊

④ 受贈図書数

発掘調査報告書	一般図書・紀要・年報・図録・研究報告等	たより類
2122※	606	252

※ (内 1841 冊は図書館より除籍図書を受け入れ)

⑤ 資料貸出

貸出先	資料名・点数	貸出期間	目的
横浜ユーラシア文化館	上智大学西北タイ歴史・文化調査団 画像データ (225点)	2017年 4月14日	企画展のための調査
横浜ユーラシア文化館	上智大学西北タイ歴史・文化調査団 (119点)	2017年 7月7日～ 10月3日	横浜ユーラシア文化館企画展に出陳のため
名古屋市熱田生涯学習センター	勾玉資料 (5点)	2017年 8月28日	「夏休み小学生勾玉作り」 講座に使用のため
銚子ジオパーク推進市民の会	銚子市余山貝塚出土 山形土偶 (1点) (デジタルデータ)	2017年 10月6日	銚子ジオパーク推進協議会 の学校支援で余山貝塚発掘 の話をする時に利用
豊橋市教育委員会	清水遺跡出土土偶 (1点)、入海貝塚 出土土偶 (1点)、花輪台遺跡出土 バイオリン形土偶 (1点)、花輪台遺跡 出土花輪台式鉢 (1点)、余山貝塚出 土山形土偶 (1点)	2017年 10月25日 ～2018年 1月10日	企画展示『東海大土偶展』 における展示
公益財団法人古代オリエント博物館	白石浩之・川合剛 (編) 『ヨハネス・ マリンガー神父と収集された先史 時代の遺物』 南山大学人類学博物館 オープンリサーチセンター研究報 告第2冊 (南山大学博物館、2011 年) 1点	2017年 11月8日～ 12月10日	申請者所属の博物館にて 企画中の展覧会において、 参考資料として利用する ため

⑥取材・調査

来館者名	資料名・点数	実施日
横浜ユーラシア文化館	上智大学西北タイ歴史・文化調査団の収集資料、写真 (画像データ)	2017年4月3日、 13日～14日
明治大学博物館	大須二子山古墳出土 挂甲1点、挂甲残片4点 計5点	2017年4月5日

NPO法人古代 瀬波の里・文化遺産 ネットワーク	蓮池2号墳（愛知県犬山市）出土遺物	2017年4月18日
横浜ユーラシア 文化館	上智大学西北タイ歴史・文化調査団の収集資料 67点	2017年4月19日、 25日～26日
横浜ユーラシア 文化館	上智大学西北タイ歴史・文化調査団の収集資料 13点	2017年5月6日
横浜ユーラシア 文化館	上智大学西北タイ歴史・文化調査団の収集資料 14点 同調査団撮影写真および動画（デジタルデータ）	2017年5月10日 ～11日
横浜ユーラシア 文化館	上智大学西北タイ歴史・文化調査団の収集資料 15点	2017年5月19日
横浜ユーラシア 文化館	上智大学西北タイ歴史・文化調査団の収集資料 20点	2017年6月6日～ 7日
みよし市立歴史 民俗資料館	旧石器遺物・赤土坂遺跡および海老山遺跡・出土資料一式	2017年6月6日
横浜ユーラシア文 化館	上智大学西北タイ歴史・文化調査団の収集資料 25点	2017年6月16日
豊橋市教育委員会	入海貝塚出土 バイオリン形土偶1点、清水遺跡出土 土偶1点、花輪台遺跡出土 土偶、深鉢各1点、余山 貝塚出土 山形土偶（空中土偶）1点	2017年6月20日
公益財団法人元興 寺文化財研究所	大須二子山古墳出土品 計26点	2017年10月6日 ～7日
名古屋大学大学院	高杯2点、壺（高蔵弥生パレス壺）1点、甕1点 計4点	2017年 10月31日、11月 7日、14日、21日、 28日、2018年3月 6日、14日、28日
公益財団法人古代 オリエント博物館	マリンガー・コレクション：バイフェイス約10点（フ ランス・アブヴィーユ、モンティエル、イギリス・ス ワングスム、ロンドン礫層遺跡ほか）、中期旧石器時代 石 約20点（シェ＝プレ遺跡、ミコク遺跡）、後期旧 石器時代石器 約50点（ラバスティード遺跡、グラヴ ェット型・ソリュートレ型尖頭器）ほか	2017年11月8日
板橋区立郷土資料 館	東京都板橋区稲荷台出土 稲荷台式土器5点	2018年2月28日

⑦撮影・他機関刊行物等への掲載

機関名	資料名	刊行物名等	刊行予定
NPO 法人古代瀬波の里・文化遺産ネットワーク	蓮池 2 号墳（愛知県犬山市）出土遺物写真（掲載）	研究紀要「瀬波」第 4 号	2017 年 5 月
公益財団法人元興寺文化財研究所	大須二子山古墳出土遺物実測図（掲載）	月刊考古学ジャーナル 2017 年 8 月号 特集「武装と馬葬の研究現時点（仮）」初村武寛執筆「古墳時代の武装と付属具」の挿図として	2017 年 7 月 20 日
横浜ユーラシア文化館	上智大学西北タイ歴史・文化調査団収集資料および撮影写真（掲載）	①横浜ユーラシア文化館企画展「タイ・山の民を訪ねて 1969～1974」のポスター、チラシ、観覧券、招待券ほか関連広報印刷物 ②上記企画展記者発表資料 ③横浜ユーラシア文化館ウェブサイトの上記企画展情報掲載ページ	2017 年 6 月 30 日
豊橋市文化財センター	入海貝塚出土バイオリン形土偶 1 点、清水遺跡出土土偶 1 点、花輪台遺跡出土土偶、深鉢各 1 点、余山貝塚出土山形土偶（空中土偶）1 点（写真）（掲載）	①企画展示『東海大土偶展』の宣伝ポスター・チラシへの掲載 ②企画展示『東海大土偶展』のパンフレット、解説シート、パネルへの掲載 ③『東海大土偶展』プレ展示のパネルへの掲載	①2017 年 9 月下旬 ②2017 年 11 月 3 日 ③2017 年 9 月 29 日
名古屋市緑政土木局緑地部緑地事業課	高蔵貝塚第一調査（デジタルデータ）（掲載）	名古屋市熱田区高蔵公園内に設置する遺跡案内板	2018 年 3 月 23 日
東京法令出版株式会社	平底土器 ニツ木貝塚出土（東京法令出版発行「日本史のライブラリー」より転載）（掲載）	「予習・復習らくらく帳 中 1 社会」	2017 年 10 月
一般財団法人放送大学教育振興会	茨城県利根町花輪台貝塚出土縄文早期の土偶（デジタルデータ）（掲載）	放送大学印刷教材『考古学』	2018 年 3 月 20 日
日奉創発の会	茨城県利根町花輪台貝塚出土縄文早期の土偶（デジタルデータ）（掲載）	・日奉創発の会が主宰する学集会の小冊子および同会の Web サイトに掲載 ・「縄文精神の伏流水」	2018 年 1 月 20 日
オフィス・ヒライ	・博物館・内観写真（1 点）（掲載）	名古屋市教育委員会発行「郷土の歴史を学ぶ副読本」	2018 年 4 月

	・大須二子山古墳からの 出土資料写真 (馬具 2 点) (掲載)		
株式会社フォト・オリジナル	縄文土器 (千葉県出土) (1 点) (掲載)	株式会社文理発行「中学ウインパス社会 歴史」	2018 年 2 月 1 日
有限会社アート・エフ	二ツ木貝塚出土深鉢土器 (1 点) (掲載)	株式会社 学書「さなる式 歴史 I」塾用問題集	2018 年 3 月 1 日
株式会社フォト・オリジナル	縄文土器 (千葉県出土) (1 点) (掲載)	株式会社文理 発行「中学必修テキストデジタルブック社会 教育出版版 歴史」	2018 年 3 月 20 日
株式会社 KADOKAWA 文芸・ノンフィクション局	茨城県利根町花輪台貝塚出土 縄文早期の土偶 (デジタルデータ) (掲載)	井口直司著『縄文土器・土偶』(角川ソフィア文庫) 紙版および電子書籍	2018 年 6 月 25 日
有限会社アート・エフ	二ツ木貝塚出土深鉢土器 (1 点) (掲載)	佐鳴予備校「中 1 定期テスト対策問題集 縄文・弥生時代」塾用プリント	2018 年 4 月 16 日

⑧当館紹介刊行物一覧

機関名	内容	刊行物名
中日新聞	博物館講座募集	2017 年 5 月 19 日朝刊

(4) 出版活動

本年度も例年どおり、2 点の出版物を刊行した。

1. 『南山大学人類学博物館紀要』第 36 号
2. 『南山大学人類学博物館年報 2016 年度』(Web 掲載)

2. 組織と運営

(1) 組織

1) 職員

館長	吉田 竹也 (副学長／人文学部教授)
担当教員	黒澤 浩 (人文学部教授)
学芸員	如法寺 慶大 (特別嘱託職員) (～2017 年 8 月 23 日) 森本 智子 (特別嘱託職員) (～2017 年 12 月 22 日) 吉田 清恵 (派遣職員) (2017 年 9 月 4 日～12 月 21 日) 野尻 佳与子 (派遣職員) (2018 年 1 月 9 日～3 月 31 日) 森 かん奈 (派遣職員) (2017 年 12 月 1 日～)
事務員	室田 美香 (専任嘱託職員) (～2018 年 3 月 31 日) 中村 奈々恵 (専任嘱託職員) (2018 年 3 月 1 日～) 近藤 幸子 (臨時職員)

2) 博物館運営委員会

- 委員長 黒澤 浩 (人文学部教授)
 委員 石原 美奈子 (人類文化学科長/博物館学芸員養成課程委員会委員長)
 加藤 隆浩 (外国語学部教授)
 後藤 明 (人文学部教授)
 濱田 琢司 (人文学部教授)
 土屋 玲 (教育・研究支援事務室長)

3) 資料評価委員会

- 委員長 後藤 明 (人文学部教授)
 委員 加藤 隆浩 (外国語学部教授)
 委員 渡部 森哉 (人文学部教授)
 委員 林 順子 (経済学部教授)
 委員 濱田 琢司 (人文学部教授)

(2) 開館・入館者実績

①開館日数・入館者数

開館日数	入館者数	団体数	団体人数
277	10057	58	2867

②入館団体内訳

・大学見学

日付	団体名	人数	担当課室
4月21日	静岡県立浜松湘南高等学校	42	入試課
4月27日	岐阜県立可児高等学校	13	入試課
4月28日	鈴鹿高等学校 (三重県 私立)	80	入試課
5月9日	帝京大学可児高等学校 (岐阜県 私立)	60	入試課
5月24日	愛知県立名古屋西高等学校	45	入試課
6月9日	岐阜県立加納高等学校	66	入試課
6月23日	南山国際高等学校 (愛知県 私立)	61	入試課
7月10日	三重県立川越高等学校	80	入試課
9月27日	岐阜東高校 (岐阜県 私立)	27	入試課
10月4日	三重県立川越高等学校	60	入試課
10月6日	静岡県立浜名高等学校	42	入試課
10月6日	三重県立宇治山田高等学校	30	入試課
10月9日	愛知県立阿久比高等学校	12	入試課
10月11日	島根県立平田高等学校	30	入試課
10月12日	愛知県立昭和高等学校	80	入試課
10月13日	静岡県立島田高等学校	43	入試課
10月16日	愛知県立日進西高等学校	25	入試課
10月18日	名古屋市立汐路中学校	6	入試課

10月20日	岐阜県立各務原西高等学校	150	入試課
10月20日	岩倉市立岩倉中学校	12	入試課
10月25日	愛知県立中村高等学校	160	入試課
10月26日	岐阜県立中津高等学校	49	入試課
10月30日	愛知産業大学三河高等学校（愛知県 私立）	74	入試課
11月8日	南山高等学校（愛知県 私立）	121	入試課
11月9日	愛知県立横須賀高等学校	68	入試課
11月10日	長野県飯田風越高等学校	79	入試課
11月21日	静岡サレジオ高等学校（静岡県 私立）	85	入試課
11月24日	栄徳高等学校（愛知県 私立）	100	入試課
12月7日	中京大学附属中京高等学校（愛知県 私立）	76	入試課
12月15日	至学館高等学校（愛知県 私立）	25	入試課
12月15日	長野県木曾青峰高等学校	39	入試課
3月8日	愛知県立惟信高等学校	91	入試課
3月9日	瀬戸市立水無瀬中学校	9	入試課
3月27日	明光義塾	100	入試課

・大学見学以外の団体

日付	団体名	人数
4月11日	名古屋文化史研究会	10
4月12日	名古屋大学人文学研究科	13
4月27日	名古屋大学博物館	21
5月15日	中京大学博物館教育論（日比野光敏氏）	30
5月26日	名古屋大学博物館	14
6月5日/8日	愛知県立総合看護専門学校	121
6月10日	あけびの会	31
6月27日	名古屋大学博物館	31
6月30日	高年大学OB K28 歩こう会	14
7月3日	さくらデイサービスセンター	9
8月23日	瀬戸市水南公民館	50
8月29日	公益財団法人 服部公益財団 暮らしの学校	11
9月5日	ガーデン句会	10
9月29日	名東鯨友会 25期会	15
10月11日	名古屋市老人組合連合会 日本セカンドライフ協会	50
10月24日	あいちシルバーカレッジ 文化教養学科A	20
11月15日	象鼻山整備促進協議会	25
11月16日	名古屋大学博物館	16
11月21日	高年大学広報 26期OB会	13
11月21日	名古屋盲学校	7
12月2日	日本ボーイスカウト名古屋12団	10

12月7日	ふわく山の会	20
12月12日	三重県立盲学校	9
12月19日	30 散策の会	10
2月14日	昭和区社会科研究会	17
2月24日	NANZAN NEXT NETWORK	12

③視察見学

2017年6月13日（月）

岐阜大学

2017年12月21日（木）

九州国立博物館展示課

2018年1月25日（木）

江戸東京博物館

3. 規程

(1) 南山大学人類学博物館規程

(目的)

第1条 南山大学学則第44条の2にもとづき、本学に南山大学人類学博物館（以下「博物館」という。）を置く。

② 博物館は、「人類学（文化資源学、考古学、民俗学および民族学を含む。）」（以下「人類学」という。）に関する資料の収集、調査、解析、収蔵、管理、保存、展示、公開などを行ない、本学の学生、職員および社会の利用に供し、教育・研究に資することを目的とする。

③ 博物館の組織および運営については、この規程の定めるところによる。

(事業)

第2条 前条第2項の目的を達成するため、博物館は、次の各号に掲げる事業を行なう。

- 1 人類学に係る調査、収集、保存、管理および解析
- 2 人類学の展示および公開
- 3 人類学に関する情報提供
- 4 人類学に関する教育研究の支援
- 5 博物館所蔵資料を利用した生涯学習の企画および運営
- 6 博物館および博物館に従事する職員の資質向上に寄与する学芸員の養成

(館長)

第3条 博物館に館長を置く。館長は副学長（教学担当）とする。

② 館長は、博物館の事業を統轄し、博物館を代表する。

(担当教員)

第4条 博物館に博物館担当教育職員（以下「担当教員」という。）を置く。

② 担当教員は、博物館活動の企画・運営に従事する。

③ 担当教員は、学長が推薦する候補者について、大学評議会の議を経て、学長が委嘱する。

(運営委員会)

第5条 博物館の運営に関する重要事項を協議し、諸事全般を決定する機関として南山大学人類学博物館運営委員会（以下「運営委員会」という。）を置く。

② 運営委員会に関する規程は、別に定める。

(資料評価委員会)

第5条の2 第2条第1項第1号に定める収集事業を適正に遂行するために、南山大学人類学博物館資料評価委員会（以下「資料評価委員会」という。）を置く。

② 資料評価委員会に関する規程は、別に定める。

(規程の改廃)

第6条 この規程の改廃は、大学評議会の議を経て、学長の承認を得なければならない。

(雑則)

第7条 この規程に定めるもののほか、博物館の運営について必要な事項は、運営委員会の議を経て、館長が別に定める。

附 則

この規程は、2005年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2006年7月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2015年4月1日から施行する。

(2) 南山大学人類学博物館運営委員会規程

(目的)

第1条 南山大学人類学博物館運営委員会（以下「委員会」という。）は、南山大学人類学博物館規程第5条にもとづき、南山大学人類学博物館（以下「博物館」という。）の運営に関する重要事項を協議し、諸事全般を決定することを目的とする。

(組織)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる委員で組織する。

- 1 博物館担当教育職員（以下「担当教員」という。）
- 2 博物館学芸員養成課程委員会委員長
- 3 学長より推薦された者若干名

② 委員は、大学評議会の議を経て、学長が委嘱する。

③ 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(所掌事項)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる事項を所掌する。

- 1 博物館の予算（案）および決算（案）に関する事項
- 2 博物館資料の収集選択に関する事項
- 3 博物館関係規程の制定または改廃に関する事項
- 4 博物館の事業に関する事項
- 5 その他博物館の管理運営に関する重要事項

(議事運営)

第4条 委員会に委員長を置き、担当教員をもってあてる。

② 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

- ③ 委員長に支障のあるときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代行する。
- ④ 委員会は、特に定めのある場合のほか、委員の過半数の出席をもって成立し、出席者の過半数をもって議決する。
- ⑤ 委員会は、必要があるときは、委員以外の者の出席を求めて意見を聴くことができる。

(事務)

第5条 委員会の事務は、教育・研究支援事務室が担当する。

(規程の改廃)

第6条 この規程の改廃は、大学評議会の議を経て、学長の承認を得なければならない。

(雑則)

第7条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

この規程は、2005年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2006年7月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2015年4月1日から施行する。

(3) 南山大学人類学博物館資料評価委員会規程

(目的)

第1条 南山大学人類学博物館資料評価委員会（以下「委員会」という。）は、南山大学人類学博物館規程第5条の2にもとづき、南山大学人類学博物館（以下「博物館」という。）において行なう博物館資料の収集に関する事項を協議し、決定することを目的とする。

(組織)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる委員で組織する。

- 1 南山大学人類学博物館運営委員会委員2名
- 2 博物館長より指名された者若干名

② 委員は、大学評議会の議を経て、学長が委嘱する。

③ 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(所掌事項)

第3条 委員会は、博物館資料の寄贈の申入れについて、南山大学人類学博物館運営委員会の諮問に基づき、その可否を審議、決定する。

(議事運営)

第4条 委員会に委員長を置き、委員の互選により選出する。

② 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

③ 委員長に支障のあるときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代行する。

④ 委員会は、委員の過半数の出席をもって成立し、出席者の過半数をもって議決する。

⑤ 委員会は、必要があるときは、委員以外の者の出席を求めて意見を聴くことができる。

(事務)

第5条 委員会の事務は、教育・研究支援事務室が担当する。

(規程の改廃)

第6条 この規程の改廃は、大学評議会の議を経て、学長の承認を得なければならない。

(雑則)

第7条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

この規程は、2006年7月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2015年4月1日から施行する。

(4) 南山大学人類学博物館ボランティア規程

(趣 旨)

第1条 この規程は、南山大学人類学博物館（以下「博物館」という。）におけるボランティア（以下、「博物館ボランティア」という。）の活動内容および登録手続等を定める。

(目 的)

第2条 博物館ボランティアは、博物館と共働して教育普及活動の向上に取り組み、利用者と博物館資料および博物館との交流を促し、「すべての人の好奇心のための博物館－ユニバーサルミュージアム」の実現と発展に寄与することを目的とする。

(活 動)

第3条 博物館ボランティアは、前条の目的を達成するために次の活動を行う。

- 1 館内における利用者の誘導、展示室における展示解説ならびに監視
- 2 その他、博物館事業への協力活動

(活動上の原則)

第4条 博物館ボランティアの活動は、博物館の教育普及活動の一部に携わるものであるため、ボランティアは、一定の規律と責任が伴うことを自覚し行動する。

- ② 博物館ボランティアは、その活動に関して個人情報と適正に取り扱う義務を負うとともに、個人情報および活動上知ることのできた秘密について守秘義務を負う。ボランティア登録を取消した後も同様とする。

(登 録)

第5条 博物館ボランティアへの登録は、人類学博物館事務室（以下「事務室」という。）に申請するものとし、人類学博物館運営委員会委員長がこれを承認する。

- ② 博物館は、ボランティア登録の承認が得られた者に対し、「ボランティア証」を交付する。

(登録取消)

第6条 ボランティアの資格は、次の各号の一に該当するときは登録取消とする。

- 1 登録取消の申し出が本人より事務室へあったとき
- 2 第4条に違背する行為があったと認められるとき

(規程の改廃)

第7条 この規程の改廃は、人類学博物館運営委員会および大学評議会の議を経て、学長の承認を得なければならない。

附 則

この規程は、2014年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2015年4月1日から施行する。

2018年6月1日 印刷

2018年6月1日 発行

南山大学人類学博物館年報 2017年度

編集・発行 南山大学人類学博物館

466-8673 名古屋市昭和区山里町18

phone 052 (832) 3147

印刷 株式会社ウエルオン

460-0007 名古屋市中区新栄3-21-31

phone 052 (732) 2227